



11月度の御書の

「異体同心事」

御文

日蓮が 一類は 異体同心

なれば 人人すくなく 候へ

ども 大事を成じて・一定

法華経ひろまりなんと 覚

へ候 (御書1463ページ)

意味

日蓮の 一門 (弟子たち) は

異体同心なので、人数は 少な

くても 大事なことを成しとげ

て、必ず 法華経は広まって

くと思つのです。

心一つに団結すれば、どんな目標も達成できる

やあ、みんな！ ぼくは、ライオン博士のキング君だよ。

今日はまず、歴史のお話から始めるよ。

昔、ある国で、悪い王様が人々を苦しめていました。

すると、この悪い王様をたおすために、要となる800人の人々が立ち上がりました。

ところが悪い王様の軍は、およそ70万人。人数だけで考えれば、とてもかないません。

しかし、結果はなんと800人の人々が勝利！ 悪い王様をたおして、平和で幸せな国を取りもどすことができましたのです。

お話はここまで。

「わずか800人で、なんで70万人に勝てたの？」って、不思議に思ったかな？

実はね、悪い王様の軍は「王のために戦おう！」という人ばかりではなかったんだ。人数は多いけど、心がバラバラだったんだよ。

一方で、800人は全員が「人々を苦しみから救いたい！」と強く思っていた。同じ目的に向かって、心一つにして戦ったんだ。

このことを「体」はちがうけど「心」は同じ、と

いう意味で「異体同心」というよ。

日蓮大聖人は、このお話を通して、「私の弟子たちは、人々を幸せにしよう！」と『異体同心』で進んでいるので、必ずその目標を達成することができる」と教えられているんだ。そして、この通りに今、「世界を平和にしよう！」「みんなを幸せにしていこう！」と、世界中の同志が「心一つ、に仲良く前進しているのが、創価学会なんだよ。

人はみんな、性格も、得意なことや好きなこともちがうよね。でも、だからこそ、一人一人が自分らしく全力を出していけば、みんなの力は「かけ算」をしたように何倍にも大きくなっていくんだ。

たとえ少ない人数でも、心を合わせて団結すれば、どんなに大変なことでも乗り越えていける。「異体同心」こそ、最高の勝利の秘けつなんだよ。

池田先生は「人間は、動き、語り、良き友と出会いを結んで、いっしょに学び合うことができる。みんなの力を合わせて、大きな歴史をつくることができます」と語られているよ。

ボクたちも周りの人と仲良くはげまし合いながら、夢や目標に向かって元気に挑戦していこう～！